

平成27年度 関東高等学校陸上競技大会 競技注意事項

1 規則

本競技会は、2015年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本競技会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

- ① 練習は、プログラム記載の指定された会場で練習会場使用日程・注意事項に従い実施すること。
- ② 練習会場では、競技役員・練習会場係の指示に従うこと。
- ③ 投てき練習は、必ず引率責任者が付き添い危険防止に努めること。指定された場所・時間以外の投てき練習は禁止とする。

3 競技場

メイン競技場・補助競技場の競走路及び助走路は全天候型である。スパイクのピンの長さはトラック9mm、フィールド12mm以下とする。また、スパイクピンの直径は4mm以内、数は11本以内とする。（競技規則143条）

4 招集

- ① 招集は競技日程を確認のうえ、必ず本人が時間厳守で行うこと。
- ② 招集所は、第4ゲート（100mスタート付近外側）に設ける。
- ③ 集合時間

種目	招集開始時間	招集完了時間
トラック種目	25分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	55分前	45分前
棒高跳	1時間40分前	1時間30分前
砲丸投・円盤投・やり投	55分前	45分前
ハンマー投	1時間前	50分前

- ④ 混成競技の招集は2日間とも第1種目は招集所第4ゲート（100mスタート付近外側）で行う。集合時間はトラック25分前、フィールド55分前とする。2種目以降については混成競技者控室（雨天走路男女ロッカー室）になるので注意をすること。2種目以降の集合時間はトラック20分前、フィールド40分前とする。
- ⑤ 招集完了時間に遅れた者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- ⑥ 競技者は招集開始時間に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にナンバーカード、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受けること。
- ⑦ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時にかねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人また代理人が招集所競技者係に申し出て、【同時出場届】に必要事項を記入し提出すること。

5 ナンバーカード

- ① ナンバーカードは主催者が配布した物を使用しそのままの大きさと背に一枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸または背に一枚つけるだけでよい。
- ② トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り両腰につける。
- ③ 4×100mリレーについては、最終走者のみ両腰につける。4×400mリレーについては、第2、3、4走者は両腰につける。
- ④ 3000m、5000m、5000m競歩については、胸背部特別ナンバーカードを使用する。競技開始1時間前までに招集所まで特別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規ナンバーカードを持参する。

6 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集開始時間までに【棄権届】を招集所競技者係に提出すること。【棄権届】は招集所で配布する。

7 入退場について

- ① 競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心がけること。
- ② トラック競技出場者については、次の通りである。
 - (ア) 招集所から競技者係の誘導により入場する。
 - (イ) 競技終了後、フィニッシュ地点の各ゲートから退場する。衣服等については、補助員が運搬する。
- ③ フィールド競技者については、次の通りである。
 - (ア) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
 - (イ) 跳躍及び投てき競技役員の誘導により各ゲートから退場する。

8 各競技の抽選・番組編成について（レーン順・試技順）

- ① トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ② トラック競技の準決勝・決勝の組、走路順は主催者が抽選し招集所に掲示する。
- ③ 混成競技において、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

9 トラック競技について

- ① スタートは、イングリッシュコマンドで行う。2回目以降に不正スタートした者は失格とする。
- ② トラック競技の準決勝・決勝進出についてトラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたときは下記の方法で決定する。100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム（チーム）については判定写真を拡大し、細部（電気計時2/1000秒）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。抽選対象者は呼び出しの放送後10分以内に指定場所へ集合すること。1500m・3000mSCの同タイム者は次のラウンドに進むことができる。

10 跳躍競技について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである（天候等の条件により変更する場合もある）

	練習	最初の高さ	バーの上げ方				
男子走高跳	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後 3cm
女子走高跳	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以後 3cm
棒高跳	3m90 4m30	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以後 10cm

- ② 混成競技のバーの上げ方は次の通りである（現地での協議、天候等の条件により変更する場合もある）。

	練習	最初の高さ	バーの上げ方				
八種競技	1m50 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後 3cm
七種競技	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3cm

- ③ 第1位及び全国大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- ④ 棒高跳び出場者は、【支柱位置（アップライト）申請書】を現地競技役員に提出すること。

注意 棒高跳（北・南）の練習について

招集完了後、メイン競技場内での跳躍練習は、時間の関係上、選手一人に対して足合わせ1本、公式練習

(ゴムバー) 2本の計3本のみとする。ただし7:30~8:30までは、メイン競技場内での跳躍練習を自由に行うことができる。

- ⑤ 走幅跳・三段跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行う。
- ⑥ 男子三段跳は12mの踏切板を使用する。

1.1 競技用具

- ① 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- ② 個人所有の棒高跳用ポールは検査に合格したものが使用できる。やりについては、競技場に備え付けていないものに限り、検査の上使用を認める。なおこの際は全競技者が共通して使用できることとし、競技開始90分前から60分前にTICに提出のこと、返却は競技終了後にTICにて行う。

1.2 混成競技

- ① 混成競技の混成競技者控室は、雨天走路側選手ロッカー室に設置する。
- ② 招集は2日間とも第1種目のみ招集所で行う。2種目目からは混成競技者控室で招集を行う。
- ③ トラック種目・走路順は、最終種目(男子1500m・女子800m)を除き主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ④ フィールド競技の試技順は、主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ⑤ 混成競技のやり投の試技順は、1つのピットで実施するため、北関東1回目→南関東1回目、北関東2回目→南関東2回目の順で行う。(やり投競技は、補助競技場にて実施する)
- ⑥ 混成競技の最終種目は、それまでの得点の上位から順に特別ナンバーカードを配布するので胸につけること。(女子800mは、第8位までの競技者を2組、第9位以降の競技者を1組とする)
- ⑦ 途中棄権する者は、【棄権届】を混成競技審判員に提出すること。
- ⑧ 混成競技者控室は競技者以外の立ち入りは認めない。

1.3 リレー競技

- ① オーダー用紙は各ラウンドの第1組の招集完了1時間前までに、用意してあるオーダー用紙に記入し、招集所に提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無に関わらずオーダー用紙に記入し、招集完了1時間前までに提出すること。提出なき場合は棄権とみなす。
- ② 同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用する。

1.4 計時について

すべてのトラック競技種目は写真判定(1/100秒)で行う。

1.5 入賞・得点について

- ① 各種目の入賞は、第8位までとする。
- ② 各種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
- ③ 各種目の合計得点により、男女別学校順位を決定する(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする)。

1.6 表彰について

- ① 各種目8位入賞した競技者(チーム)は競技終了後に表彰式を行うので表彰待機所に待機していること(表彰式への参加は、6位までとする。ただし、混成競技は3位まで、競歩競技は4位までとする)。
- ② 表彰式への参加のない入賞者はTICで賞状を受け取る。
- ③ 学校対校の表彰は、男女8位までを閉会式で表彰する。

1.7 全国大会出場権について

本大会の各種目6位(走高跳、棒高跳は6名)まで、全国大会の出場権を得る。ただし、競歩競技は4位までとし、混成競技は3位までと各地区4位~6位の選手の中から全国上位5人が出場権を得る。

18 助力について

助力については、競技場での助力は禁止するが、助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。陸連ルールの改正に伴い、ビデオ等による助言は認める。但し、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱するような行為、文章をもって連絡することは認めない。

19 抗議について

競技規則第146条による。ただし、抗議は各都県監督のみが行えるものとする。

20 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

- ① 上半身の衣類（製造会社名・ロゴ：1カ所：文字高さは縦4cm以内：トータルのロゴの高さ5cm以内：面積40cm²以内）
- ② ランニング・ベスト・レオタード（製造会社名・ロゴ：1カ所：文字高さは縦4cm以内：トータルのロゴの高さ5cm以内：面積30cm²以内）
- ③ 下半身の衣類（製造会社名・ロゴ：1カ所：文字高さは縦4cm以内：トータルのロゴの高さ5cm以内：面積20cm²以内）
- ④ バック（製造会社名・ロゴ：2カ所：面積25cm²以内）
- ⑤ ソックス（製造会社名・ロゴ：1カ所：高さ2.5cm以内：面積5cm²以内：シューズまたは、衣類製造会社名）
- ⑥ 帽子・手袋等（製造会社名・ロゴ：1つにつき1カ所：面積6cm²以内）
- ⑦ 競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する（例えばベストの下にTシャツを着用する・ショーツの下にタイツを着用する）場合は、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

21 提出書類について

提出書類名	受付場所・提出場所	提出期限
同時出場届	招集所競技者係	招集開始時刻
支柱位置申請書	競技会場	競技場内練習開始時刻
棄権届	招集所競技者係	招集開始時刻
リレーオーダー用紙	招集所競技者係	招集完了時刻1時間前

22 記録証について

記録証は、正面玄関 TIC にて受け付ける（300円）。

23 練習場について

- ① 主競技場
 - ・ 1,2レーン…周回練習レーン
 - ・ 3～6レーン…短距離レーン（スタートダッシュはホームストレート）
 - ・ 7,8レーン……ハードルレーン
- ② 補助競技場 直線走路
 - ・ 1,2レーン…周回練習レーン
 - ・ ホーム3～6レーン…短距離レーン
 - ・ ホーム7,8レーン…ハードルレーン（100mH、110mH）
 - ・ バック3,4レーン…短距離レーン
 - ・ バック5,6レーン…ハードルレーン（400mH）

フィールド内・投てき練習は「練習会場使用日程」にある時間帯とする（メディシンボール等の使用は球技場可）。

その他 ・事故防止のため逆走は避けること。

- ・ バトン練習は周囲に「声」をかけ、事故のないよう十分注意すること。
- ・ 器具を用いた練習は不可とする。

- ・ハードルは決められたレーン以外には設置しないこと。
 - ・跳躍種目のマット等については、競技が終了した者は原則として使用しないこと。
- ③ 雨天走路への出入りについては、競技場の外側から入れるが係の指示に従うこと。
- ・練習以外の使用は厳禁とする。
 - ・器具を用いた練習は不可とする。
- ④ 練習場の使用時間については練習会場使用日程のページにて確認のこと。

24 応援について

集団による一斉応援は、競技に支障が出ますので、次のように規制します。

- ① 正面スタンドでは行わない。
- ② フィールドの競技を行っている付近では、行わない。
- ③ リレーのバトンゾーン付近では、行わない。
- ④ トラック競技においてスタートのコール後は、一切行わない。

25 その他

- ① 競技者は招集所からスタート地点までは原則として誘導に従い、競技地点へ行くこと。
- ② 競技者以外の者はトラック・フィールドに絶対に入らないこと。応援は必ずスタンドで行い、集団での連呼なども慎むこと。また、競技者は他の競技者の応援をしてはならない。
- ③ 競技場内では、指定された場所以外には荷物は置かないこと。
- ④ メイン競技場内でのウォーミングアップは、特に指示された場合以外は禁止とする。また器具を用いた練習は厳に慎むこと。
- ⑤ 競技者は審判役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。
- ⑥ 補助競技場・球技場の投てき練習は「練習会場使用日程」に従っておこなう。
- ⑦ リレーで使用したマーク（テープ等）は各校が責任をもって除去すること。
- ⑧ メイン競技場において、横断幕・部旗・のぼり旗等を設置する場合は、メインスタンド最上部・サイドスタンド最上部・バックスタンド中段と最上部のみとする。

集合同時間 10時30分～11時00分、抽選開始 11時11分、その後入場

- ⑨ 貴重品は各自、各学校で責任をもって保管し、盗難・紛失等に十分注意をすること。
- ⑩ ゴミについては、各校の責任においてすべて持ち帰ること。また、各校でベンチとして使用した場所は清掃をしてから帰ること。
- ⑪ 公園利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- ⑫ 個人情報の取り扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはありません。